https://www.jaaso.or.jp/

JAあそだより

令和６年１月

謹んで新年のお慶びを申し上げます

農業師匠制度を利用し研修中の尾田長政さん（左）と師匠の山下一義さん

■今号16ページ　主な内容

- 令和6年新年のご挨拶 ＪＡ阿蘇組合長 原山寅雄
- 「ＪＡくまもと」設立に向けた新たな合併目標期日について
- 「特集」新規就農の尾田長政さんにインタビュー
- 各スポーツ大会・小国郷収穫感謝祭・女性部料理コンテストなど開催
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント！etc.

今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇のホームページにアクセスできます!

2024 新年

VOL. 132

阿蘇農業協同組合

本所　〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111／FAX 0967-23-1088

令和6年（2024年）新年のご挨拶

『連携』による総合力の発揮

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長　**原山　寅雄**

新年、明けましておめでとうございます。
皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては、日頃より格別なるご協力、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

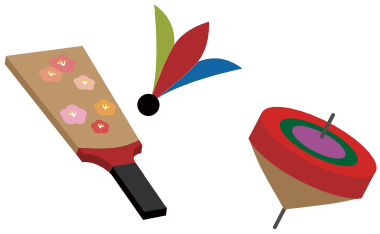
農業・ＪＡを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。このような時こそ農家に寄り添った経営が必要です。高騰対策の一環として肥料・飼料の手数料引き下げ、約６ケ月に及ぶ燃料価格の据え置き、資材高騰対策事業の助成金申請、販売高を基準とした「資材高騰支援金」の支給など、組合員の皆様の一助となるよう力を入れて参りました。

2023年におきましては販売高強化の戦略として、市場のニーズに応えるため改良したトマトのパッケージングなど、営農・経済プロジェクトの取り組みが日本農業新聞の全国版に取り上げられました。同プロジェクトによる収支改善や市場のニーズを的確に応える、これも『連携』無くしては実現出来ません。今後も阿蘇ブランドのさらなる拡大のため、トップセールスや販売促進活動をひとつひとつ積み重ね、組合員の皆様の手で生産された農畜産物の魅力を届けて参ります。

県域ＪＡ構想について、地域にＪＡを残すためにも避けては通れない道であると考えております。これからの合併協議において、たとえ離脱するＪＡがあっても合併に向けて邁進致します。合併して全てが大きく変わる訳ではなく、地区本部制として今の体制と変わらない始動となります。今後は、組合員の皆様との対話を通じて理解醸成に取り組んで参ります。

農業という「命の産業」を守るためにＪＡ、組合員、部会、組織が自らの使命を共有し、互いに協力しあい、最大限の『連携』を図ることでこの厳しい状況を一丸となって乗り切っていきます。それぞれの立場・役割・責任を認識して、これからも組合員の皆様のご期待に応えられるＪＡ阿蘇を目指します。

結びに、迎えた本年が皆様にとって明るく輝かしい年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



「ＪＡくまもと」設立に向けた新たな合併目標期日について

当ＪＡは、第27回ＪＡ熊本県大会（令和3年12月開催）における「令和6年4月に県下１ＪＡを目指す」旨の決議に基づいて合併協議に参画しておりますが、コロナ禍の影響等により、組合員の皆様と直接的な形で意見交換する機会が不足していたこと、また、組合員の皆様に対して十分な理解醸成を図るまでの協議に至らなかったこと等から、「当初予定していた合併目標期日（令和6年4月）は延期する」こととなっておりました。

そのような中、世界情勢の不安定化や急激な円安を背景とした輸入コストの上昇による燃油をはじめとした生産資材価格の高騰・高止まり、物流関係の2024問題や最低賃金の引き上げ等、合併協議の開始当初に想定していた以上の喫緊の課題が生じてきており、ＪＡのさらなる経営基盤の強化が急務となってまいりました。

そこで、これらの課題への対応や組合員の皆様が理解・納得し得る「県域ＪＡ構想」のさらなる深掘りを行うためにある程度の時間を要するとのことから、「新たな合併目標期日を令和8年4月」とし、スピード感を持って対応・協議を進めていきたいと考えております。

今後とも、こうした難局を乗り越えながら、将来にわたって組合員の皆様の「営農とくらし」を支え続けていくために、合併することで「どのようなメリットが生まれるのか」「組合員の皆様に対してどのようなサービスを提供できるのか」等について、さらなる検討を重ねていきたいと考えております。

当ＪＡにおいては、今後も、組合員の皆様に対して積極的に情報発信していくとともに、できる限り説明・協議の場を設け、皆様の声・想いを合併協議に反映できるように取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長　原山　寅雄

JAそお鹿児島 JA阿蘇の営農・経済プロジェクトを視察 ソリューション導入で意見交換

JA阿蘇への視察歓迎の挨拶をする原山組合長

10月4日、JAそお鹿児島からJA阿蘇の営農・経済プロジェクト視察団の訪問を受け、意見交換会を行いました。

意見交換会では、JAそお鹿児島から「JA阿蘇独自の農業コンサルティングとして、何に着目してどこにメスを入れたのか。経済事業に関して打ち出したソリューション（企業や団体が抱える課題や問題などを様々な方法で解決するシステムやノウハウ）導入時の基準の設定方法や改善された効果、実施する上での課題」などについて具体的な質問や様々な意見が交わされました。

JA阿蘇訪問の挨拶をするJAそお鹿児島代表の方

JA阿蘇は熊本県下で初めて令和3年度、ソリューション策定プログラムを導入し、成長と効率化を目的とした14項目の実施プログラムを策定。改善効果額1億3700万円を計画し、持続的な事業力と財務体質の確保を図っています。取り組み2年目の効果額は約1億800万円の実績で計画対比170%を達成しました。

意見交換会では、原山寅雄組合長が「この営農・経済プログラムを通して職員の責任と役割の意識が変わり、やるべきことが見えてきた。今後は経済のみならず信用や共済部門においても取り組みを波及させていきたい」と、今後の抱負を述べました。

写真上＝JA阿蘇を訪れたJAそお鹿児島関係者／写真左＝JA阿蘇の取り組みを説明する原山組合長

八重山諸島4島巡り 3日間

穏やかな時間がながれる楽園のひととき。

■旅行実施日

2024年2月21日(水)～23日(金)

■旅行代金（大人お一人様、2名様1室利用、くまもと空港起点）

118,800円

1名1室利用お一人様追加代金	22,000円（2泊分）

※シーズンのためお受け出来ない場合もございます。

■申込締切日／令和6年1月19日（金）※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

■利用予定ホテル／石垣島：アートホテル石垣島（連泊）

日次	行程 ◎入場観光 ○下車観光 ●車窓 ▲お買物	食事
1	阿蘇くまもと空港 11:15 —ANA1867→ 那覇空港 12:55 14:40 —ANA1771→ 新石垣空港 14:30 ═══ エメラルドの海を眺望 ○バンナ展望台 ═══ 石垣島【泊】 17:00 徒歩であじ彩石垣島へ。琉舞を見ながらの夕食をお楽しみください。	一 弁 夕
2	ホテル 7:40 ═シャトルバス═ 離島ターミナル ～高速船～ 西表島【◎仲間川マングローブクルーズ】 亜熱帯ジャングルを遊覧 ／ 遠浅の海をのんびり渡る 由布島【◎水牛車観光・由布島植物園（昼食）】～～ ／ 沖縄の原風景が広がる 竹富島【○皆治浜・○コンドイビーチ・○集落】～高速船～ 離島ターミナル ═シャトルバス═ 石垣島【泊】 15:40 夕食は1Fレストランにてビュッフェをお楽しみください。 ※離島観光は全て他の方と混載になります。ホテル着後、夕食まで街中(自由)散策をお楽しみ下さい。八重山最古の寺院「桃林寺」までは徒歩約800メートルです（18時まで開門）。	朝 昼 夕
3	ホテル 9:30 ══ 川平湾の珊瑚と熱帯魚観賞 ◎川平湾グラスボート ═══ JAおきなわ八重山直売所 ファーマーズ「ゆらてぃく市場」 ／ ビュッフェの昼食 ホテルグランビュー石垣（昼食）═══ 新石垣空港 13:20 ／ ANA2444 ═ 那覇空港 14:20 15:20 ═ANA1868═ 阿蘇くまもと空港 16:45	朝 昼 一

※都合により行程および時刻は変更になる場合がございます。※後日改めて集合・解散地（および時刻）をお知らせいたします。

由布島 水牛車観光（イメージ）

専用のチラシを別途ご用意しております。

詳しくは農協観光にお問い合わせください。

農協観光 熊本エリアセンター TEL. 096-356-3131

さわやかな秋晴れの下、各スポーツ大会はつらつプレー光る!

「第14回JA阿蘇旗争奪 学童わんぱく軟式野球大会」「小国少年野球クラブ」優勝

10月1日、阿蘇市一の宮総合運動公園で「第14回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく軟式野球大会」が開催されました。

同大会は地域貢献活動の一環として行われており、今年度は阿蘇郡市から8チームが参加しました。手に汗握る熱戦の結果「小国少年野球クラブ」が優勝し、古澤常務より優勝旗が手渡されました。

主催した共済部は「子供たちの生き生きとした姿を見ることができて嬉しい。選手一人一人のがんばりに私たちもエネルギーをもらった」と感想を語っていました。（写真＝優勝した小国少年野球クラブへ古澤常務より優勝旗授与）

JA阿蘇年金友の会グラウンドゴルフ大会 管内8支部から会員127人参加

「楽しくプレーしています！」ノリノリで写真撮影に応じて頂いたグループの皆さん

JA阿蘇金融部は10月7日、阿蘇市で「第18回JA阿蘇年金友の会グラウンドゴルフ大会」を開催しました。同大会は、年金友の会会員の健康増進と親善を目的に行われるもので、4年ぶりの開催となり、管内8支部から会員127人が参加しました。プレーは芝生の上で行われ、参加者は砂地とは違うストローク感覚に苦戦しながらも、笑顔で楽しむ姿が多く見られました。

試合の結果、1位、山本カツ子さん（阿蘇町支部）、2位、渡邉浩一さん（阿蘇町支部）、3位、井国光さん（産山支部）。（写真上＝芝生のコンディションをよく見てナイスショット！）

JAバンク熊本グラウンドゴルフ大会 佐藤朝廣さん（阿蘇町）Aブロック1位

表彰を受けるAブロック1位の佐藤朝廣さん

「第21回JAバンク熊本グラウンドゴルフ大会」が11月16日、パークドーム熊本で行われ県内12のJAから200人が参加しました。阿蘇管内からは18人が参加し、A・B2つのブロックに分かれて試合を行いました。試合の結果、阿蘇町の佐藤朝廣さんがAブロックで1位に輝きました。

「2023くまもと農業フェア」
JA阿蘇営農部が出店
西原村産「シルクスイート」芋天と新米を販売

親子で楽しめるイベントや熊本の美味しい農畜産物・加工品が盛りだくさんの「2023くまもと農業フェア」が11月11・12日、熊本県農業公園カントリーパークで開かれました。

会場一帯に設けられた各ブースでは、JA女性部による地産地消鍋（豚汁）やJA青壮年部による餅つき実演・販売会、親子で芋掘り体験、JA熊本経済連農機具展示会などの各種イベントが行われました。

JA阿蘇からは営農部が出店し、西原村産の「シルクスイート」を使った芋天と新米を販売しました。

両日ともに天候に恵まれ、JA阿蘇ブースにはたくさんの人が並び、2日間で約115kgのシルクスイートを芋天に使用しました。芋天の他、販売した新米も2日共に完売しました。

芋天を買った来店者は「揚げたてで美味しい」「何枚でも食べられる」「今までサツマイモは苦手だったが、このシルクスイートは美味しい」など嬉しい感想がたくさん寄せられました。

JA阿蘇ブースにご来店いただき、ありがとうございました！

写真右上＝「芋天はオレに任せろ！」
齊藤博満営農部長が芋天作りに参戦！
写真左上＝西原村産の「シルクスイート」を使った芋天
写真右＝スタッフの笑顔が売上増に貢献 ♥
写真下＝秋晴れに恵まれた「くまもと農業フェア」会場

生産各部会の生育・出荷などの動き

小国地区のダイコン出荷最盛期 福岡・熊本・長崎3県メインに 19万ケース出荷 販売目標2億円

ＪＡ阿蘇小国地区では、10月下旬からダイコンの出荷最盛期を迎えています。

小国郷大根部会では本年度、福岡・熊本・長崎の3県をメインに19万ケースの出荷を計画し、目標販売高は2億円としています。２Ｌ・Ｌサイズが主体で秀品率は7割です。

部会長の明里忠行さんは「今年は天候にも恵まれ、台風被害や病害虫の被害もなかったため品質良好な大根の出荷ができている。部会員一丸となって最後まで出荷をがんばりたい」と話していました。

ダイコンの出荷は12月中旬まで続けられる予定です。（写真右＝ダイコンの出荷作業をする明里忠行さん）

イチゴの出荷計画量555ｔ 10月下旬から出荷開始

ＪＡ阿蘇管内では9月上旬より始まったイチゴの定植が無事終了。

いちご部会の大津裕樹部会長は、恋みのり126ａを高設栽培で経営。技能実習生と共に迅速丁寧な作業で定植を行いました。

大津さんは「本年度は高温や台風の影響もなく、無事に定植を終えることができた。資材高騰などで農業を取り巻く環境は年々厳しくなっているが、逆境に負けず頑張りたい」と抱負を語っていました。

本年度は主に九州・関東・関西市場メインの出荷を重点に計画しています。

定植作業の様子（令和5年9月7日撮影）

同いちご部会は部会員41人（前年度比95％）で、面積12ha（同99％）、計画量は555ｔ（同106％）を目指し、「恋みのり」「さがほのか」「ゆうべに」の3品種を栽培します。

ＪＡ阿蘇の江藤秀晃指導員は「年内の草勢管理に重点を置き、肥培管理や適期防除指導をしていく」と意気込みを語っていました。

イチゴ出荷いよいよ本番！ 販売戦略に力入れ8億円超目指す

イチゴを持ち込む田端さん

ＪＡ阿蘇いちご部会では10月25日より「恋みのり」「ゆうべに」「さがほのか」のイチゴ3品種の出荷が始まり、特にクリスマスに向け、さらに出荷量が増える見込みです。

中部地区野菜集選果場では（11月21日取材時）、イチゴを持ち込む生産者の姿が多く見られ、当日出荷で訪れたいちご部会副部会長の田端伸吉さんは「本年度は味の良いものができた。今は出荷が始まったばかりで量は少ないが、今後増えることを期待している」と話していました。

いちご部会では本年度販売基本方針として、市場と青果物コントロールセンター間での情報共有を密に行い、適正単価を維持すること、また阿蘇ブランド認知拡大のため原山組合長によるＪＡ阿蘇が定めた九州・関東・関西の重要市場へトップセールスを行うなど、販売戦略に力を入れ約8億2500万円の販売高を目指します。

写真上＝パック詰めなど出荷作業の様子
写真左＝パック詰めされる「恋みのり」

阿蘇地域世界農業遺産認定10周年お祝い!「JA阿蘇小国郷収穫感謝祭」

11月18日、小国郷野菜集荷場で「JA阿蘇小国郷収穫感謝祭」が開かれました。秋の実りに感謝を込め、そして阿蘇地域世界農業遺産認定10周年をお祝いして多数のキッチンカー出店やJA阿蘇本所・小国郷中央支所・営農センターの職員らが、県内やJA阿蘇管内で収穫した農畜産物を使った料理を振る舞い、大勢の来場者で賑わいました。ご来場、誠にありがとうございました。

収穫感謝祭会場にはJA阿蘇各部署職員出店の飲食物販売ブースが設けられ、各ブースとも大人気！
大勢の来場者が押し寄せ、盛り上がりました！

特集 表紙で紹介の生産者 尾田長政さんにインタビュー

新規就農者の尾田長政さん(39)は、農業師匠の山下一義さんの元「農業師匠制度」を利用し、現在（11月取材）9か月の研修中。西原村などの営農地12haでサツマイモ、サトイモ、ニンジンなどを栽培。

農業を始めようと思ったきっかけは?

【尾田】農業をする前は、自衛隊で働いていました。そこでの仕事は自分の性に合っていましたが、定年が早く、退任した先輩方が再就職先等で悩んでいる姿を見て「自分もどうしよう」と考えていました。

農業については「きつさに見合っていない」などのマイナスのイメージを抱いていたので、最初はあまり考えていませんでした。しかし、農家の方と出会っていく中で、若くておしゃれな人が多く、誇りをもって仕事されている様子を目の当たりにし、最初に抱いていたイメージがガラリと変わりました。「自分で仕事を決められる」「自分で選択できる」ことに魅力を感じ、農業を始めようと思いました。

農業をすると覚悟を決めたとき、どんな思いでしたか?

【尾田】正直、自衛隊を辞めるときは寂しかったです。しかし、遅かれ早かれ辞める時は来るので、やりたいことをやるなら早いほうがいいと覚悟を決めました。それに、辞めたからといって関係が途絶えるわけでもなく、その時はただ未来を見て、目の前のことに集中しなければ!と思いました。

師匠の山下さんとの日々は?

【尾田】役場の方が山下さんとマッチングさせてくれました。「見ているだけ」ではなく実際に作業をやらせてもらえ、すごく勉強になります。

始めてからは「分からないことが分からない」状態ですが、防除や水やり等の栽培管理はしっかりこだわりながら作業しています。

実際に研修して、どうでしたか?

【尾田】「いいものが出来ているか」「仕事量に見合った品質がきちんとできているか」、イモ類は収穫するまで分からないので、きちんと栽培できたか不安でした。初めてサツマイモを収穫したとき「今年はいいものができた」と言われたので本当にほっとしました。「ああ、これがお金になるのか」とすごく新鮮な気持ちです。

どんな農家になりたいですか?

【尾田】子供が「農家になりたい」と言った時、しっかりと継がせられる農家になりたいです。独立した後はニンジンをメインに栽培し、4月から妻も収穫を手伝ってくれる予定です。

妻のほうが「今すぐにでも農業したい」とノリノリなんです(笑)。

まだまだこれからですが、この道に進んで良かったと言える日が来るよう頑張りたいです。

女性部 料理コンテスト開催！ 色とりどりの料理並ぶ
「阿蘇町」と「西原」２支部が大賞

ＪＡ阿蘇女性部は 10 月 18 日、中部営農センターで管内７支部対抗の料理コンテストを開催しました。

「乾物を使用した料理」「自由調理」の２つのテーマに各支部からそれぞれ２品が出品され、組合長や常勤役員らによる試食審査が行われました。投票による審査の結果、阿蘇町と西原が同数で大賞に輝きました。

「乾物を使用した料理」では、乾物の特徴を活かしボリュームがあってヘルシーな料理が、「自由調理」では目で見ても楽しいデザートなどの料理が並びました。審査員を代表し田嶋常務は「大賞を決めるのが非常に難しかったです。どの料理も創意工夫が素晴らしく、また食べたいと思うくらい美味しい料理でした」と講評していました。

(写真右＝料理コンテストに出品された女性部の皆さん)

出品支部(出品者)と料理

阿蘇町支部

佐藤　和代「ひじき煮入りあんかけがんも」(写真下左)
西村富美枝「簡単なオレンジムース」(写真下右)

西原支部

役員メンバー共作「高野豆腐のはさみ揚げ」(写真下左)
役員メンバー共作「簡単スコップケーキ」(写真下右)

小国郷支部

綿貫　初美「バターナッツかぼちゃ濃厚ポタージュ」(写真下左)
松本かよ子「乾燥しいたけの南蛮漬け」(写真下右)

一の宮支部

菅　美佐子「和風コロッケ」(写真下左)
岡田留里子「フルーツパウンドケーキ」(写真下右)

蘇陽支部

白鷹美津子「山菜おこわ」(写真下左)
杉本　春子「夏野菜と鶏皮の酢の物」(写真下右)

高森支部

中川　和子「たまご寒天」(写真下左)
中川　和子「納豆あげギョーザ」(写真下右)

南阿蘇支部

桐原　夏代「オムレツちゃん」(写真下左)
桐原　夏代「ミニトマトキムチ(写真下右)

試食審査の様子

出品された料理レシピ

ＪＡ阿蘇女性部「西原支部」役員メンバーによる料理
「簡単スコップケーキ」をご紹介します。
忙しい時期にぴったり！市販のビスケットで
焼かずにたっぷり作れます。
食べたい分をスプーンですくって召し上がれ☆

材料（４人分）

マリービスケット …… 16枚
砂糖 …… 16グラム
ブルーベリージャム …… 適量
生クリーム …… 200cc
牛乳（ビスケットを浸す用）…… 200cc
飾り用フルーツ
（いちご・ぶどう・フルーツ缶詰など）好きなだけ

作り方

1. 生クリームに砂糖を加えホイップする
2. マリービスケットを牛乳に裏表３秒ずつ浸し、大きめの器にホイップクリーム、ビスケットを並べて２段重ねたらブルーベリージャムを塗り、さらに２段の層を重ねる
3. フルーツを飾り、６～８時間冷蔵庫で冷やして完成

ＪＡ阿蘇女性部料理コンテスト出品料理
一の宮支部　菅美佐子さん考案「和風コロッケ」
肉の代わりにひじきを使用しました。
ひじき煮が残った時、作ってみてください

材料（５人分）

じゃがいも　大３つ　　人参　２分の１本
干し椎茸　２～３枚　　ひじき　20グラム程度
枝豆　少々　　塩コショウ　お好みで
砂糖　しょうゆ　みりん（ひじき煮用味付け、
お好みで割合を変える）
揚げ衣用　小麦粉（適量）パン粉（適量）
卵（揚げ衣用 適量）揚げ油（適量）

作り方

1. ひじき、椎茸を水でもどしておく。えだ豆はゆでておく
2. 人参、椎茸は千切りにする
3. ジャガイモは皮をむき茹でて潰し、熱いうちに塩コショウをする
4. ひじき、人参、椎茸を炒め砂糖、しょうゆ、みりんを使い好みの味付けをする
5. 潰したじゃがいもに（４）と茹でたえだ豆を加え混ぜ合わせる
6. （５）で作ったたねを好みの大きさに丸め、小麦粉、卵、パン粉をつけて油で揚げて完成

JA阿蘇 イラスト違い探し「初詣（はつもうで）」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。
探してみてください！（出題：イラストレーター みやた みゆき）

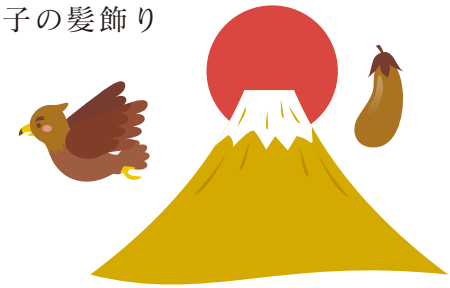
イラスト違い探し「初詣」応募方法

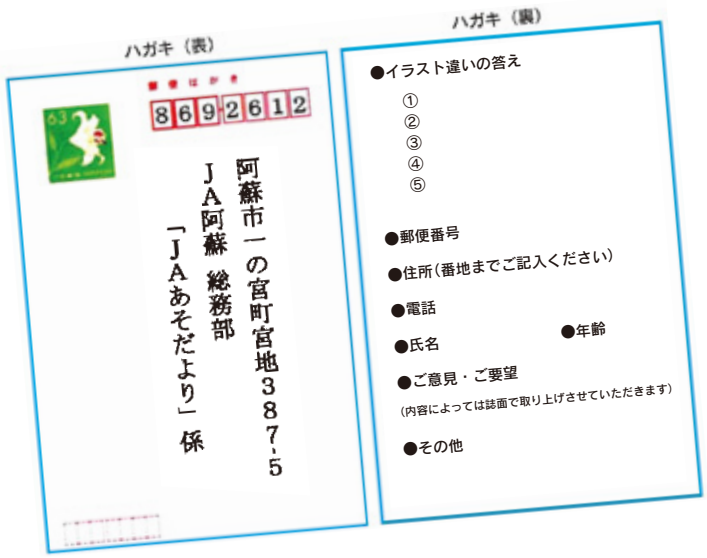
上のイラスト５か所の違いを、官製ハガキに書いて
応募してください。正解者の中から抽選で５名様に
熊本県産あか牛サイコロステーキ（写真＝イメージ）をプレゼントします。
応募締め切りは令和６年１月15日（当日消印有効）です。
当選者は次号のJAあそだよりで発表します。

前号「南阿蘇鉄道」答えとプレゼント当選者４名様

住吉いつ代　様（高森町）
下城知奈美　様（南小国町）
阪東信一郎　様（滋賀県）
尾前すや子　様（阿蘇市）

＝答え＝
①左端の木
②男の子の口
③犬の耳
④列車の窓の数
⑤女の子の髪飾り





理事会・監事会報告

■令和5年度第9回理事会

日時：令和5年9月26日午後1時30分
場所：一の宮中央支所会議室
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項　8月末実績について
　1）貸出金について
　2）団体信用生命共済取扱商品の拡充について（案）
　3）共同住宅ローン株式会社保証の住宅ローン取扱いについて（案）
　4）熊本県常例検査回答書（案）について（第2回目）
　5）支所運営委員の承認について（案）
　6）令和6年度JA阿蘇職員募集について（案）
報告事項
　1）令和5年度総合展示会開催について
　2）令和5年産米概算金決定について
　3）自主検査結果報告について（令和5年7月検査分）
　4）県域JA構想について
4. 閉会

■令和5年度第10回理事会

日時：令和5年10月30日午後1時30分
場所：一の宮中央支所会議室
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項　委員会報告（総務専門委員会、金融・共済専門委員会）
　　令和5年度上半期決算実績報告について
　1）貸出金について（案）
　2）法令改正に伴う年金規約の変更について（案）
　3）令和5年度年末年始休日について（案）
　4）支所運営委員の承認について（案）
報告事項
　1）令和5年度理事会付議案件の実行完了について
　2）令和5年度米麦等棚卸監査報告書について
　3）事務ミス等の発生状況について（半期報告）
　4）マネロン・反社等への対応状況について（四半期報告）
　5）余裕金運用状況について（令和5年9月末）
　6）有価証券購入報告について
　7）令和5年度 第3四半期余裕金運用方針について
　8）県域ローンセンター媒介業務実績について（四半期報告）
　9）ATM利用状況について（令和5年9月末）
　10）不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について（令和5年7月～9月）
　11）令和5年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況について（令和5年9月末）
　12）第4回JA阿蘇アグリイノベーションフェアー開催要領について
　13）令和5年度農政連会費・国際貿易交渉対策募金計画について
　14）令和5年産米予約・集荷実績について
　15）組合員の加入及び脱退状況について（令和5年9月末）
　16）自主検査結果報告について（令和5年8月）
4. 閉会

■令和5年度第9回監事会

日時：令和5年10月30日午前10時30分
場所：本所2階第一会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1）令和5年度上期決算棚卸監査取りまとめについて
　2）令和5年度上期決算監事監査実施手続きについて
報告事項
　①常勤監事業務報告及び会議等報告について
　②不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について（令和5年7月～令和5年9月）
　③行事予定について
4. 閉会

JA阿蘇職員異動のお知らせ（令和5年10月1日辞令）

氏名	新辞令	旧辞令
伊藤　正之	南部農機センター係	阿蘇町農機センター係
下村　憲二	阿蘇町農機センター係	南部農機センター係
山内　慶三	南部車輌センター係	阿蘇オートサービスセンター係
藤川　平政	南部農機センター係	阿蘇町農機センター係
横田　健生	阿蘇町農機センター係	南部農機センター係

安心のネットワーク NOSAI熊本

「もしも」にそなえる、あなたへのエール。 収入保険

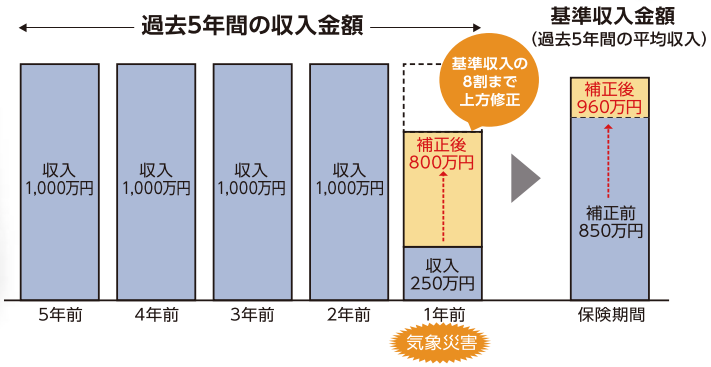
農業者の皆さまへ
収入保険がより身近に!
制度改正のお知らせ
～令和6年契約加入受付中～

今後も続く異常気象、予期しない収入減少への対応…
安心できる農業経営が当たり前の時代に。
加入者の声を受け、令和6年契約から制度が見直されます。

「令和6年契約」見直し3つのポイント

今年は災害があったから
今、加入しても
補償が低くなる…

1 基準収入算定の際に甚大な気象災害による影響を緩和!



令和6年加入者は、令和5年の農業収入の申告時に申し出ることで、令和5年以前に被災した年の農業収入も調整することができます。

最高補償での加入は
積立部分の負担が
大きい…

2 保険方式のみで9割を補償限度とするタイプを新設

【加入者が負担する保険料・積立金】
(基準収入金額1,000万円、新規加入の場合)

	保険料	積立金	合計
保険方式80%+積立方式10%	8.5万円	22.5万円	31.0万円
保険方式のみ90%	17.7万円	―	17.7万円

必要経費

保険方式だけで従来からある積立方式を併用するタイプと同じ補償が受けられます。積立金がないため、新規加入時の負担が少なくなります。

加入したいが、
今年から青色申告を
始めたので
実績がない、、、

3 青色申告1年分のみで加入が可能に!

これまで、収入保険に加入するためには、2年以上の青色申告の実績が必要でしたが、令和6年1月加入から1年分の青色申告実績で加入できるようになりました。

＼今年もあります／

県からの保険料補助のお知らせ

県による収入保険加入者への保険料等補助（収入保険加入緊急支援事業）
が本年度も実施されます。

	新規加入者	継続加入者	集団加入者※
補助内容	保険料の 1/3 を助成	危険段階区分上昇による保険料増額分の 1/3 を助成	付加保険料の 1/3 を助成
補助上限（個人）	6万円	1.2万円	1万円
補助上限（法人）	6万円（前年）→25万円（本年）	1万円（前年）→ 5万円（本年）	1.2万円（前年）→ 5万円（本年）

※集団加入者については、5経営体以上のグループで加入する施設園芸（野菜・花き）経営、果樹経営の集団が対象となります。

さらに!!

インターネット申請割引!
新規加入者の付加保険料を
4,500円割引!

自動継続特約割引!
付加保険料を
1,000円割引!

収入保険加入者の声をご紹介します!
視聴はこちらのQRコードから→

詳しくは最寄りのNOSAIへ!

熊本市支所	TEL.096-329-5211	宇城支所	TEL.0964-32-3511
（植木出張所）	TEL.096-273-1913	鹿本支所	TEL.0968-43-2357
玉名支所	TEL.0968-72-4181	阿蘇支所	TEL.0967-32-0347
菊池支所	TEL.0968-37-3000	（北部出張所）	TEL.0967-46-3488
上益城支所	TEL.096-282-6565	（南部出張所）	TEL.0967-62-9144
（山都出張所）	TEL.0967-72-4222	八代・芦北支所	TEL.0965-32-4111
球磨支所	TEL.0966-45-0531	（芦北出張所）	TEL.0966-82-5577
（下球磨出張所）	TEL.0966-22-5104	天草支所	TEL.0969-22-5444

農機具購入や設備投資などをお考えの方へ

2023年度 JAバンクで 農業近代化資金

事業実施期間 2024年1月1日(月)～2024年3月31日(日)

対象となる方 農業近代化資金を100万円以上お借入れ、かつ熊本県農業信用基金協会をご利用いただける方。
※2024年3月31日までにお借入された方が対象

規模拡大による
新しいハウス建築に

作業負担軽減のための
最新設備導入に

増頭や飼養牛更新に伴う
乳牛等の購入・育成費用に

JAバンクでは農業者の皆さまのお借入負担を軽減するため、農業近代化資金のお借入にかかる金利と保証料を助成いたします。

実質金利負担 年0～0.1%
JAバンクが5年間利子補給します

実質保証料負担 0円
JAバンクが保証料を全額負担します

認定農業者の場合

基準金利 年2.35%
基準金利は毎月変動します

▶ 熊本県による利子補給1.25%利用後 年1.1%

▶ 農林水産長期金融協会による特例利子助成およびJAバンク利子補給併用後 年0%

※借入日より5年後以降は金利負担が発生します。※利子補給・保証料助成総額には上限があります。予算に達し次第終了いたしますので、助成が受けられない場合があります。(2023年10月19日現在)
※基準金利が利子補給率を上回る場合には、利子補給期間においても金利負担が発生します。

商品概要

【貸付対象者】
認定農業者、認定新規就農者、一定の要件を満たす農業者(集落営農組織を含む)、認定農業者となる計画を有する農業参入法人等

【資金使途】
①畜舎、果樹棚、農機具その他の農産物の生産、流通または加工に必要な施設の改良、造成、復旧または取得に必要な資金
②果樹、その他の永年性植物の植栽、育成に必要な資金
③家畜の購入、育成に必要な資金
④農地の小規模な造成、改良、復旧に必要な資金
⑤農業経営の規模拡大、農業経営の改善に必要な長期運転資金

【貸付期間】
最大15年、うち据置期間最大7年
(資金使途に応じて異なります。)

【貸付金額】
個　人 ……1,800万円以内
知事が特に必要と認めた場合 …… 2億円以内
法人、集落営農組織等 …… 2億円以内
農業参入法人 ……1億5千万円以内

【返済方法】
毎年1月20日(休日の場合は翌営業日)の年1回払い

【担　保】原則不要

【保　証】原則として熊本県農業信用基金協会の保証を必要とする

【保証料】JAバンクの保証料助成により0円

【JAバンク利子補給期間】5年間

【JAバンク利子補給率】最大 年1.0%

(2023年10月19日現在)

JAバンク熊本の主な利子補給対象資金

資金名	補給率(最大)	補給期間(最長)	備考
農業近代化資金	年1.00%	5年	
21世紀農業フォローアップ資金	年1.00%	3年	農業に関する様々な資金使途に対応可能 ※資金使途によっては対象外となる場合があります。
JA農機ハウスローン	年1.00%	3年	一定額までの農機具・ハウスに迅速に対応可能
農業経営改善促進資金(スーパーS資金)	年1.00%	1年ごと	農業経営に関する運転資金 ※制度資金であり予算に限りがあります。
JA農業法人ローン	年1.00%	1年ごと	農業経営に関する運転資金

農業資金団信(任意加入)	「団信」に加入して、死亡等の万が一のリスクに備える。 ※団信に加入できる商品・資金使途には制限があります。詳しくは、JA窓口までご相談ください

●JAバンク利子補給は当初借入額100万円以上が対象です。●お申込に際しては、JA所定の審査があり、その結果によってはご希望に添えない場合があります。また、担保等を求める場合もあります。●店頭にてご返済額の試算を承っております。
●JAへの出資をお願いする場合がございます。●土日祝日については、一部営業していない店舗があります。●詳しくは、店頭・HPの説明書または、窓口にお問い合わせください。

JAバンク熊本

■JA熊本市 096-372-6948 ■JAたまな 0968-72-5505 ■JA鹿本 0968-41-5132 ■JA菊池 0968-23-3506 ■JA阿蘇 0967-22-6111 ■JAかみましき 096-234-1157 ■JA熊本うき 0964-34-3317
■JAやつしろ 0965-35-6165 ■JAあしきた 0966-82-2516 ■JAくま 0966-38-1101 ■JA本渡五和 0969-23-2231 ■JAあまくさ 0969-22-1102 ■JAれいほく 0969-35-0600